

1 調査概要

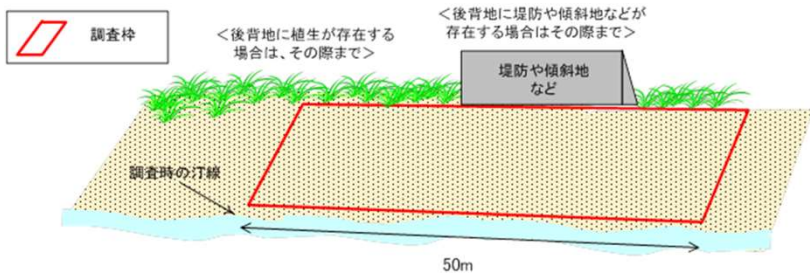
○ 調査地点と調査実施日

地点名	調査実施日
伊勢湾小鈴谷周辺地点	令和5年11月29日、30日
三河湾形原周辺地点	令和5年12月1日
遠州灘西七根周辺地点	令和5年12月21日



○ 調査方法

- ・地方公共団体向け漂着ごみ組成調査ガイドライン(令和5年6月第3版)(環境省)に基づき調査を実施。
- ・調査範囲：汀線方向の幅を50mとして、調査時の海岸汀線付近から海岸の後背地までの間。
- ・調査対象ごみ：主に長さ2.5cm以上の漂着ごみを調査対象として回収。
- ・分類及び計測：ガイドラインの分類表に従い分類し、重量、容量、個数を計測。



▲特徴的なごみ(流木)
(伊勢湾小鈴谷周辺地点)



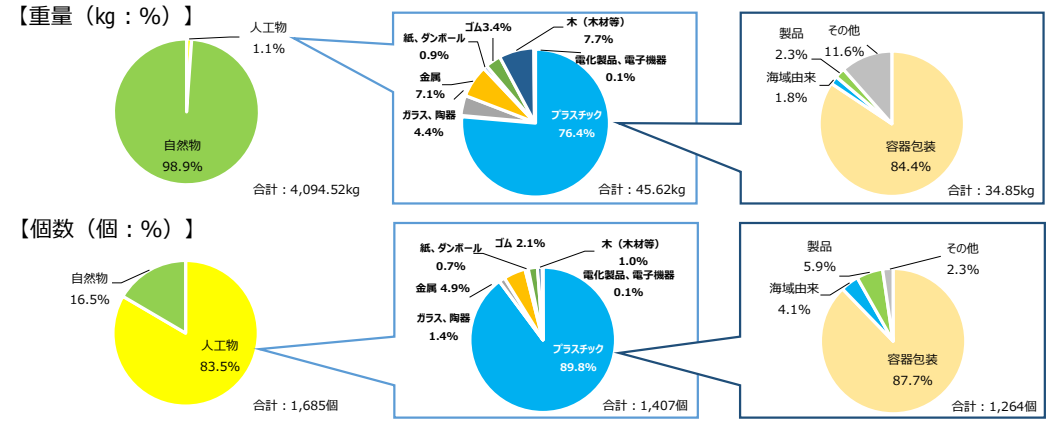
▲特徴的なごみ(食品容器包装)
(三河湾形原周辺地点)



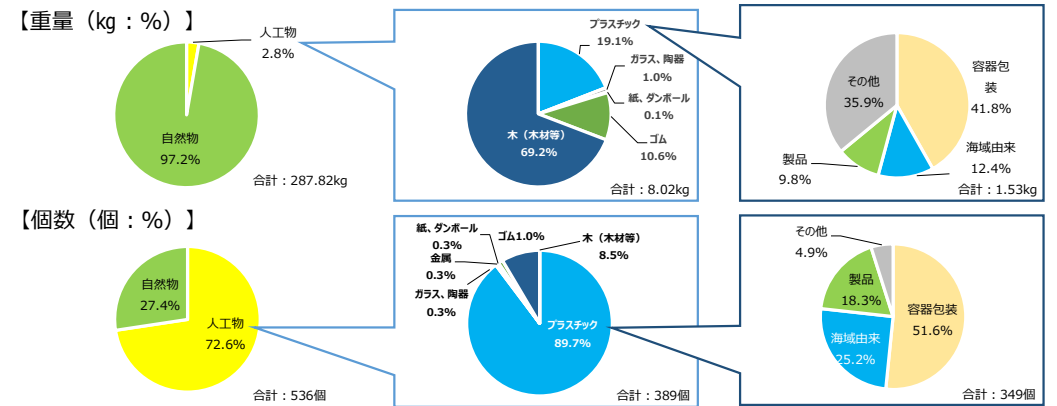
▲特徴的なごみ(たばこのフィルター)
(遠州灘西七根周辺地点)

2 調査結果(令和5年度)

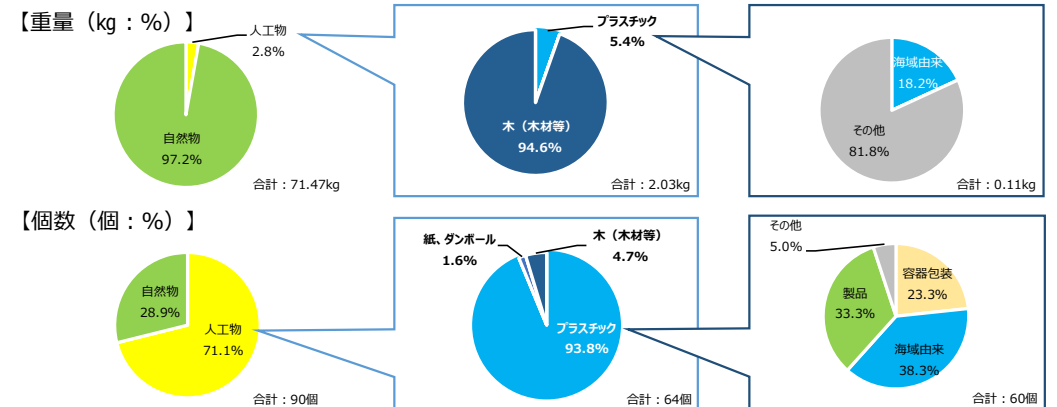
○ 伊勢湾小鈴谷周辺地点



○ 三河湾形原周辺地点



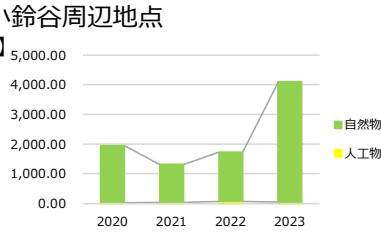
○ 遠州灘西七根周辺地点



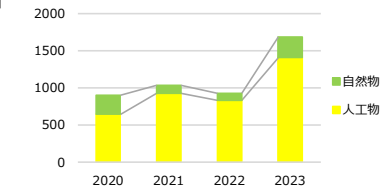
3 調査結果（経年変化）

○ 伊勢湾小鈴谷周辺地点

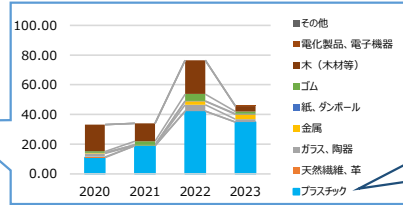
【重量 (kg)】



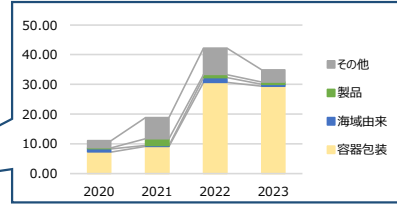
【個数 (個)】



■ :人工物の大分類別の組成



■ :プラスチックの容器包装等の組成



【必須項目ランキング】

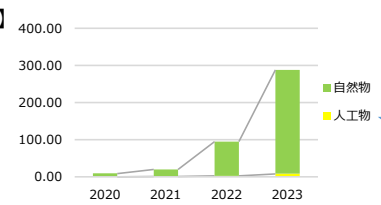
順位	項目	2023年度重量 (kg)	割合 (%)	2022年度順位	2021年度順位	2020年度順位
1	ボトル (プラスチック)	27.95	61.3	1	2	2
2	木 (木材等)	3.51	7.7	2	1	1
3	金属	3.22	7.1	6	9	10
4	硬質プラスチック破片	2.39	5.2	3	3	7
5	ガラス、陶器	2.02	4.4	5	8	3
6	ゴム	1.57	3.4	4	4	4
7	発泡スチロールの破片	1.10	2.4	8	6	12
8	食品容器 (プラスチック)	0.65	1.4	7	7	9
9	紙、ダンボール	0.40	0.9	16	20	19
10	コップ、食品容器 (発泡スチロール)	0.39	0.9	17	14	17

【必須項目ランキング】

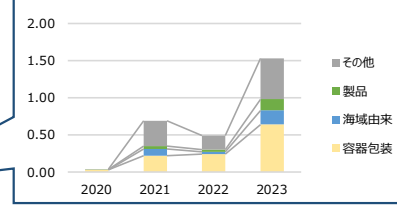
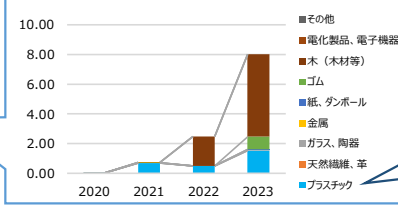
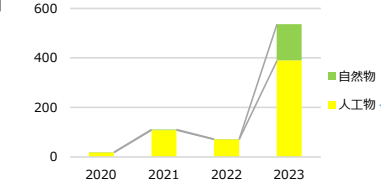
順位	項目	2023年度個数 (個)	割合 (%)	2022年度順位	2021年度順位	2020年度順位
1	ボトル (プラスチック)	481	34.2	1	3	1
2	コップ、食品容器 (発泡スチロール)	435	30.9	3	1	2
3	ポリ袋 (不透明、透明)	79	5.6	4	7	7
4	金属	69	4.9	7	16	10
5	食品容器 (プラスチック)	54	3.8	5	2	5
6	ボトルのキャップ、ふた	53	3.8	2	4	8
7	ゴム	29	2.1	9	9	12
8	ウレタン	25	1.8	6	5	3
9	苗木ホト	21	1.5	22	14	17
9	その他 (プラスチック)	21	1.5	17	6	4

○ 三河湾形原周辺地点

【重量 (kg)】



【個数 (個)】



【必須項目ランキング】 ※計測値が10g未満のものについては、順位をつけていない。

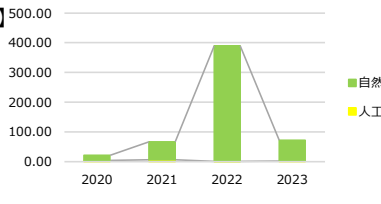
順位	項目	2023年度重量 (kg)	割合 (%)	2022年度順位	2021年度順位	2020年度順位
1	木 (木材等)	5.55	69.2	1	7	2
2	ゴム	0.85	10.6	-	11	-
3	ボトル (プラスチック)	0.41	5.1	-	3	-
4	硬質プラスチック破片	0.37	4.6	3	1	5
5	発泡スチロールの破片	0.11	1.4	6	11	-
6	ロープ、ひも (漁具)	0.10	1.2	5	7	-
7	ボトルのキャップ、ふた	0.08	1.0	6	4	1
7	ガラス、陶器	0.08	1.0	-	11	-
9	シートや袋の破片	0.07	0.9	-	11	7
10	ライター	0.06	0.7	4	-	-
10	コップ、食品容器 (発泡スチロール)	0.06	0.7	2	11	-

【必須項目ランキング】 ※過年度に計測されていないものについては、順位をつけていない。

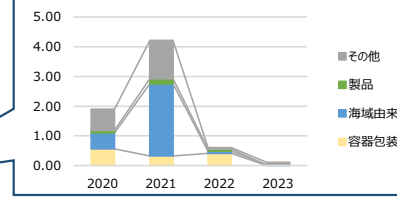
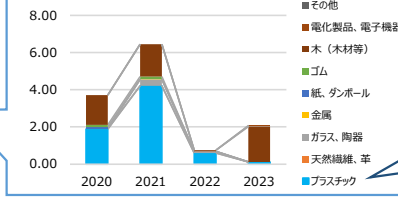
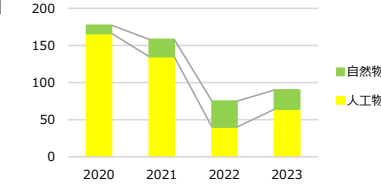
順位	項目	2023年度個数 (個)	割合 (%)	2022年度順位	2021年度順位	2020年度順位
1	コップ、食品容器 (発泡スチロール)	76	19.5	1	5	-
2	カキ養殖用まめ管 (長さ1.5cm) (漁具)	54	13.9	13	8	-
3	ポリ袋 (不透明、透明)	45	11.6	3	3	-
4	木 (木材等)	33	8.5	2	14	5
5	ボトルのキャップ、ふた	27	6.9	6	4	2
6	ロープ、ひも (漁具)	23	5.9	7	8	-
7	たばこ吸殻 (フィルター)	21	5.4	-	1	1
8	テープ (粘着リフト、ビニールテープ)	17	4.4	7	8	-
8	ウレタン	17	4.4	4	2	4
10	ストロー	15	3.9	7	6	-

○ 遠州灘西七根周辺地点

【重量 (kg)】



【個数 (個)】



【必須項目ランキング】 ※必須項目のうち、重量が計測できた項目は3項目のみ、※計測値が10g未満のものについては、順位をつけていない。

順位	項目	2023年度重量 (kg)	割合 (%)	2022年度順位	2021年度順位	2020年度順位
1	木 (木材等)	1.92	94.6	3	2	1
2	硬質プラスチック破片	0.09	4.4	-	3	5
3	浮子 (ブイ) (漁具)	0.02	1.0	-	1	10

【必須項目ランキング】 ※過年度に計測されていないものについては、順位をつけていない。

順位	項目	2023年度個数 (個)	割合 (%)	2022年度順位	2021年度順位	2020年度順位
1	釣具	13	20.3	-	-	13
2	たばこ吸殻 (フィルター)	10	15.6	9	5	11
3	ボトルのキャップ、ふた	6	9.4	1	10	1
3	ストロー	6	9.4	2	12	-
5	テープ (粘着リフト、ビニールテープ)	4	6.3	9	8	11
5	浮子 (ブイ) (漁具)	4	6.3	-	7	14
5	ロープ、ひも (漁具)	4	6.3	5	4	7
8	食品容器 (プラスチック)	3	4.7	4	3	4
8	ウレタン	3	4.7	-	-	8
8	木 (木材等)	3	4.7	5	2	9

・漂着物の組成としては、重量、容量において自然物が多く、個数において人工物が多い傾向があった。人工物の大分類別の組成では、プラスチックが多い傾向が見られる。

・プラスチックの容器包装等の組成においては、伊勢湾小鈴谷周辺地点では4か年を通して容器包装が多い傾向がみられ、三河湾形原周辺地点では重量、容量では容器包装、その他に該当する分類が多く、個数では容器包装、製品に該当する分類が多くみられ、遠州灘西七根周辺地点では4か年を通して多く見られる特定のごみはなく、各年度にて多くみられる分類が異なる傾向がみられた。